



# 庭窪小学校だより

令和6年10月29日  
守口市立庭窪小学校  
校長 林 恵一  
住所：佐太中町 1-6-10  
電話：06-6901-2369

## 秋が深まりました！

一気に秋の気配となりました。木々も色づき始めています。一日の寒暖の差も大きくなり、体調を崩しやすい時でもあります。健康管理には十分お気をつけください。

21日から始まった運動会の練習もだんだんと熱を帯びてきました。11月16日(土)の運動会本番では、練習の成果を思いきり発揮してほしいと思います。2学期も後半となりました。子ども達は日常の学習にも一生懸命取り組んでいます。教職員一同、子ども達に寄り添い、今後もしっかり支援してまいります。保護者の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご協力を何卒お願いいたします。

## アフリカ音楽に魅了されました！

10月1日(火)、芸術鑑賞会を開催しました。今年度は、アフリカ音楽の演奏団体「NKOSI AFRICA(ンコシ アフリカ)」に来ていただき、太鼓をメインとした演奏を鑑賞しました。

アフリカの太鼓「ジャンベ」の軽快なリズムが流れると、すぐに子どもたちは心をつかまれ、笑顔が広がっていきました。手拍子や体でリズムをとったり、踊ったり、思い思いの表現で子どもたちは演奏を楽しむことができました。

演奏の合間には、アフリカの子どもたちの様子についてプロジェクターで学んだり、実際に「ジャンベ」の演奏をさせられたり、終始アフリカの文化を身近に感じることができました。演奏の体験をした子どもたち

からは、「太鼓たたくの手が痛かった！」「難しかったけど楽しかった！」など、演奏の楽しさとともに、プロの演奏のすごさやすばらしさも感じるすることができました。最後には子どもたちから自然と「アンコール！」の声が上がり、最後はみんな一体となって歌い踊る大盛り上がりのフィナーレとなり、大満足のひと時となりました。



## 4年生が福祉学習に取り組みました

守口市の障がい者支援団体の方を講師としてお招きし、

10月1日(火)にアイマスク体験を、そして4日(金)には点字の体験学習を行いました。アイマスク体験では実際にペアの子に引率してもらって、目隠しをして歩く体験を行いました。段差や曲がる時にペアの子に指示を受けても、見えない怖さから、なかなか前に進めないことを実感として体験すること



点筆(てんぴつ)を使って自分の名前を打っているところです

ができました。また、点字学習では点字器を使って自分の名前を書く(打つ)体験を行い、実際に、視覚障がいの方に読んでもらう経験ができました。両日とも、視覚障がい者の方から直接お話を聞くこともでき、子ども達は、この福祉学習を通して、障がいのある方や、その方を支える周りの人々の思いや願いを知り、自分たちにできることは何かを深く考えることができました。



24日には盲導犬を知る授業も行いました

## 柿の渋抜き体験をしました！

10月7日(月)、和歌山県かつらぎ町の方々にお越しいただき、3・4年生児童が、現地の名産品である「柿」の渋を抜く体験をさせていただきました。

和歌山県の柿の生産量は全国第1位で、その中でもかつらぎ町はたくさんの柿を生産しているというお話を聞いた後、少し渋柿を試食させていただきました。「渋い」味は、ほとんどの子が未経験で、「口の中が乾く！」「ぱさぱさになった！」など初めての味覚に、みんな「渋い」顔になっ



ていました。その後、実際に渋抜きをしたおいしい柿を改めて試食させると、その甘さにびっくりした様子でした。渋抜き体験として、柿のヘタの部分にお酒(アルコール)を2秒ほど漬け、その柿をビニール袋に入れて口

を密閉する作業をしました。そのまま1週間ほど常温に置いておくと、渋が抜けて甘い柿が出来上がるということでした。子どもたちは大事にお土産としてお家に持って帰りました。

## 楽しかったね！庭窪地域体育祭

10月13日(日)、雲一つない秋晴れの中、庭窪地域コミュニティ協議会主催の「庭窪地域体育祭」が開催されました。たくさんの地域の方が集まり、和気あいの



の温かい雰囲気の中、本校児童もたくさん参加して楽しむことができました。子どもたちはパン食い競争や二人三脚、綱引きなど、各プログラムにたくさん参加し、とてもいい笑顔で、一生懸命走ったり楽しく競技したりする様子が見られました。私も、スターターとしてこの行事に参加させていただき、子ども達が地域の中で、温かく見守られながら育っていることを改めて実感いたしました。当日、お世話していただきました庭窪地域コミュニティ協議会の方をはじめ地域の皆様、本当にありがとうございました！

